

報 告 書

島田市議会議長 様

島田市議会議長 大石 節雄  
島田市議会議員 平松 吉祝  
島田市議会議員 横山 香里  
島田市議会議員 桜井 洋子  
島田市議会議員 提坂 大介  
島田市議会議員 井上 篤  
島田市議会議員 石川 晋太郎

議会報告会に出席しましたので、次のとおり報告します。

- 1 日時 令和5年5月20日（土）  
午後2時00分～午後3時30分
- 2 会場 六合公民館 第1集会室
- 3 参加者数 16人（男性 12人、女性 4人）
- 4 役割
  - (1) 受付 全員
  - (2) 司会 平松
  - (3) 挨拶（概要） 大石
  - (4) 報告 厚生教育常任委員会 横山  
経済建設常任委員会 井上  
総務生活常任委員会 桜井
  - (5) 答弁 全員
  - (6) 記録 提坂

## 5 報告事項

### (1) 議会の活動の動向の市民への報告について

#### ① 厚生教育常任委員会

- ・令和5年度一般会計予算 重要案件について  
結婚支援事業、放課後児童健全育成支援事業

#### ② 経済建設常任委員会

- ・令和5年度一般会計予算 重要案件について  
勤労者教育資金利子補給金事業（勤労者住宅資金利子補給金事業）、合併  
処理浄化槽設置事業、公園管理費
- ・常任委員会報告  
島田市手数料条例の一部を改正する条例について、島田市川根温泉条例  
の一部を改正する条例について

#### ③ 総務生活常任委員会

- ・令和5年度一般会計予算 重要案件について  
地域公共交通計画策定事業
- ・会計年度任用職員、空港周辺プロジェクト推進事業、市役所新庁舎建設事  
業について
- ・常任委員会報告  
財産の減額貸付について、ごみの減量化に対する提言書の提出について

#### ④ 報告に対する質疑

Q 放課後児童健全育成支援事業の責任はどこにあるのか？

A 学校ではない。

Q この事業を今やっているところはどこか。

A 公設民営がほとんどで民設民営もある。市が委託して行っている。

Q 待機児童の4年生以上の人数は？

A 3年生は37人、4年生のほうが3年生より多く発生している。5、6  
年生は少数である。

### (2) 意見及び情報の交換について

#### 今回のテーマ「子育て支援について」

子育てしやすい島田市について、いいところ、悪いところの意見を幅広く聴  
取するため、ワークショップ形式で行う。参加者を3グループに分けてさまざ  
まな意見を集約する。

#### ①各グループでの発表

島田市で子育てしていく上でのいいところ、悪いところ

## いいところ

- ・地域的に買い物が気軽にできる。
- ・交通の便がいい。
- ・こども館がある。
- ・小さな子を暖かく見守ってくれる。
- ・ゆっくりとした環境でのびのびとした子育てがしやすい。
- ・木谷島公園ができたので子どもの遊び場が増えた。
- ・子どもの見守り活動が盛んにされている。
- ・町内会として地域に密着した活動を目指している。
- ・ファミリーサポートセンターがある
- ・具体的ではないが、子育てに対して「地域でできることはないか？」と大勢の人が思っている。
- ・自然が多い（景色がいい・環境がいい）
- ・治安がいい。
- ・子ども見守り隊が朝の通学路で声掛けをしてくれている。  
子ども見守りのボランティアに感謝しています（感想）

## 悪いところ

- ・子どもが遊び方を知らない。
- ・地区によっては公園が少ない。
- ・公園に駐車場が少ない。
- ・公園のフェンスが低いのでボール遊びができない。
- ・フェンスで囲まれた安心できる公園がない。
- ・街灯が少ない。
- ・街灯が少なくて心配。
- ・民設学童の新規参入ができない。
- ・他市に比べて学童に対する対応に偏りがある。  
例：学童の受入開始時間が朝 8:00 から。他市は 7:30 から。
- ・待機児童は 0 人であるべき。
- ・子育ての情報をもっと発信してほしい。
- ・スクールゾーンが明確でない。
- ・交通安全のためにもっと教育してもらいたい。
- ・朝の通学路の車両が多い（付き添いが必要なところも）
- ・子育て支援施設を作ると言う「うるさいからやめてくれ」と言われる。
- ・中学での部活動の練習や試合が少なく、コミュニケーションがとれない。
- ・部活が少ない。
- ・裏道に狭いところがある。
- ・町内の子どもとおじいちゃん、おばあちゃんとの接点が少ない。
- ・近場でお年寄りと交流できる場所が増えたらいいな。
- ・子どもが遊びたかったら遊べる、勉強したかったら勉強できる、そこに大人が

いて安心して遊ばせることができる場所ができるといい。

- ・地域で子育てすることが少ない。
- ・子どもたちの遊び方や方法が画一的。
- ・放課後児童クラブが足りない。
- ・子どもを家族で育てる時間が少ないと思う。
- ・核家族が進んでいるので、子育てに対し不安に思っている。
- ・働く場所が少ないと感じる。
- ・「挨拶」と「声掛け案件」は明確に分けてほしい。

#### 10年後の島田市こうなったらいいな

- ・子どもたちの教育面や環境面で、日本の中でも一歩先を行く島田市になってほしい。
- ・経済的に市と市民が豊かになって、子どもを育てる上で不自由なく生活できればいいな。
- ・地域の人がもっと気軽に、寒い時は暖まりに来れる場所や、暑い時は涼みに来れる場所を作り、地域の人交流できる場所ができるといいと思う。
- ・ひとり暮らしやお年寄り、親たち子どもたちが集まれる場所、子どもたちが放課後に気軽に立ち寄れて、近所の人に暖かく見守ってもらうことができる場所ができるといいな。
- ・ボールを使って思いっきり遊べる場所がほしい。
- ・子どもの交通事故0。
- ・スポーツができるトレーニングセンターを作してほしい。
- ・リーダー（ジャイアン）的な子どもを町内または組に作る。

#### ②その他市民のご意見

Q. 少子化社会にあって結婚できる人もしなくなり、子育ても大変になっている。どんなステップを踏んでいくのか？他市で行われているいい事例は取り入れてほしい。市民の意見を議員と話せる機会がもっとあってもいい。

A. 議論はしているが実現できていないことがある。市民の皆さんと話せる場を協働して設けてくれというご意見は本当に嬉しい。市民と議会が一つになれば市は動くと思う。

Q. 国をあげてデジタル化を促進しているが、高齢者が置き去りにされている。デジタル格差をなくしてほしい。デジタル化の中で行政サービスも受けられる人と受けられない人という格差が出てきているが、その辺は市としてどのように対応しているのか？

A. 市でも、取り残さないデジタル化としてスマートフォンの利用講座などさまざまな事業を行っている。行政にデジタルを学ぶ場を作るように求めたい。紙媒体等旧来の方法も完全になくならないので、行政の方に訴えていく。

(市民からの意見)

リバティこどもクリニック等に病児保育があるのは知っているが、もっと周知してほしい。また、子どもの体調が悪くなった場合に受け入れてくれる場所がもっとほしい。